

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平7-67576

(43) 公開日 平成7年(1995)3月14日

(51) Int.Cl. <sup>6</sup>	識別記号	庁内整理番号	F I	技術表示箇所
A 2 3 L 1/30	B			
	A			
1/28	Z			
// A 6 1 K 35/78	W	8217-4C		
35/84	A B D A	8217-4C		

審査請求 未請求 請求項の数4 F D (全 4 頁)

(21) 出願番号 特願平5-239202

(22) 出願日 平成5年(1993)9月1日

(71) 出願人 593178236

株式会社エイコーステーション  
神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町53番地  
横尾ビル

(71) 出願人 593178247

小澤 義行  
東京都品川区南大井5丁目1番8号 ブル  
ーム南大井201号

(72) 発明者 小澤 弘行

神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩井町53番地  
横尾ビル 株式会社エイコーステーション  
内

(74) 代理人 弁理士 岡田 栢郎

最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 菌糸体健康食材

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 一般人の健康維持、自然治癒力増進とウイルス、エイズウイルスをもつ病人等の免疫力を増強し健康回復に効果ある菌糸体健康食材の提供。

【構成】 舞茸、虎杖根、バパイヤ、椎茸、松茸、真菰、牡蠣殻の乾燥粉末の混合物及びエキス。

## 【特許請求の範囲】

【請求項1】 菌糸体と添加物の混合体を健康用として使用する健康食材において、該健康食材を乾舞茸の粉末、乾虎杖根の粉末、ババイヤの乾燥粉末を構成要素としたことを特徴とする菌糸体健康食材。

【請求項2】 乾舞茸の粉末、乾虎杖根の粉末、ババイヤの乾燥粉末に、さらに乾椎茸の粉末、椎茸の菌糸体から抽出した糖蛋白、松茸菌糸体の粉末、真菰の粉末、牡蠣殻の粉末を加えた構成要素よりなることを特徴とする請求項1の菌糸体健康食材。

【請求項3】 各構成要素のエキスの混合体よりなることを特徴とする請求項1または2に記載の菌糸体健康食材。

【請求項4】 各構成要素の混合体を錠剤に形成することを特徴とする請求項1または2に記載の菌糸体健康食材。

## 【発明の詳細な説明】

【0001】

【産業上の利用分野】この発明は菌糸体の有効成分を使用し健康の維持、または病気を快方に向わせ健康体にする菌糸体健康食材に関する。

【0002】

【従来の技術】従来椎茸、松茸は健康体質を形成し、癌の予防効果があると言われている。インターフェロンは人が癌にかかった場合、キラー、リンパ球の働きを強め、その細胞増殖を阻止するのではないかとされていた。しかし限られた部分にしか有効でなく、また副作用も大きい。そこでこれを解決するため「きのこ」に頼ることになり、その期待も大きい。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】ウイルスに対抗し、病気の進行を防止し、病気を快方に向かわせ、予防をする健康食材を、従来の単一菌糸体及び単一糖蛋白に求めるのではなく、例えば、椎茸、松茸だけでなく他の子実体、菌糸体を捉へてこれの効力を増大させ、ウイルス以外の症状にも有効な添加材を見出すことにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】健康食材を乾舞茸の粉末、乾虎杖根の粉末、を基本として、ババイヤの乾燥粉末の混合物、及びこの混合物に乾椎茸の粉末、椎茸の子実体、菌糸体から抽出した糖蛋白、乾松茸菌糸体の粉末、真菰を組成範囲として加えたものにする。

【0005】

【構成要素の説明】舞茸について：「舞茸」は山奥深いミズナラ等の株に稀に発生するために珍重がられている茸である。大きいものは一株20～30cmにもなり、見つけた人は踊り上り喜ぶことから「まいたけ」という名がついたと言われている。「こく」のある味と高い香り、菌触りの良さは松茸とならび「きのこ」の王様として高い評価を得ている。また発生は同じ箇所毎年で

くるので家の娘にもいずれば嫁に行くから教えないというほど重宝されている。舞茸は水洗いスライスして約50℃で熱風乾燥した後粉末化して使用する。舞茸は木材腐朽菌と称し木を腐らす茸のグループに属する。

【0006】舞茸は低カロリー食材で、ビタミンB<sub>2</sub>、D、カリウム、ミネラル、食物繊維を多く含む食材である。抗ウイルス作用、血液改善作用、排毒排便作用を持ち食欲を増進して、ストレスや体の変調を改善する。特にその成分が癌をはじめとする、ウイルス特にエイズウイルスに有効なことを見出した。鎮痛効果、血圧正常化、コレステロール減少作用もある。またアレルギー体質改善にもなる。一般分析では可食部100g当たり：粗脂肪0.7g 粗蛋白3.7g 炭水化物3.8g 灰分 0.8g

その多糖類は抗腫瘍作用をもつ。またミネラル、ビタミンや酵素の働きを大きくする作用を持つため新陳代謝を活性化し、「快食、快眠、快便」のリズムに乗せる。従ってこの菌は総合的作用を持つ点に特徴がある。

【0007】乾虎杖根について：添加材たる「乾こじょうこん」の植物は俗称「いたどり」と言われ、野、土手、崖に成育し、茎は中空で斜め上方、直上方に成育し1.5m位にもなり、若いものは食用にもなる。その他「スイカンボ」「サシガラ」「ドングイ」「タジイ」などと別名も多い。たで科に属する。雌、雄異株の多年草で地下茎は横走分岐する。根茎は便秘、せき止め、やけど、の薬として使用されている。虎杖根は、切り傷、すり傷の痛みをとると言い伝えられ、これが転じて「いた取り」となつたいう。ただし痛みをとるより蔞酸を含み止血作用がある。噛むと爽やかな酸味がありさつぱりとする。そのため地方では「スカンボ」ともいう。春に成長し人の背丈位になる。虎杖根という名は茎は杖に似て、秋には木質化して木のように固くなることに由来する。「虎」は木質部外面が虎のような斑点があることによる。粉は香りがなくやや苦みがある。

【0008】薬用としては、根茎を掘り起こし採取（10～11月）し水洗ののち日干しにする。それを刻み5～10gを300～600ccの水が半量になるまで煎じ、これを一日量として食間3回に服用する。効果は慢性便秘、緩下、利尿、膀胱カタル、通経（月経不順）、健胃に対して認められる。特に利尿面で渴を感じる人は、その汁を冷やして飲むとよい。淋病、膀胱炎には6～12g（上記の液）を一日3回に分けて飲むとよい。根茎をアルコール漬けた液でも良い。風邪薬として使用できる。

成分：根はアンスラキノン系の配糖体ポリゴニン、エモジン、エモジンモノメチルエーテルを含む。茎はリンゴ酸、酒石酸、クエン酸を含む。食用としては若芽は酸味があり、皮をはいて塩をつけて生食する。また茹でて水に浸したのち、塩漬けてもよい。虎杖根エキス

をHIV感染細胞に入れるとエイズウイルスの増殖を抑える作用をもつ。性病に効くということはHIVにも関係ありと着眼するものである。またその根は生命力の強いことにも着目するものである。虎杖根は本願発明では添加材としているが、舞茸の効果に加え前記エイズ症状の回復用として機能する。

【0009】松茸：松の木の根に菌根を作り根から養分をとる共生型の茸で活物寄生菌の代表格である。ビタミンB<sub>2</sub>、蛋白質の消化酵素を含む。食用きのこの一般分析で、可食分100g当たりの含有量は、粗脂肪0.6g、粗蛋白2.0g、炭水化物8.2g、灰分0.9gである。松茸の熱水抽出物の多糖類は抗癌性物質として研究されている。

【0010】椎茸：カリウム、カルシウム、マグネシウム、鉄、マンガン、リンなどを含む。またビタミンB群を多く含むアルカリ食品である。蛋白質、脂肪、糖質、ミネラルが含まれている。またビタミンDの源であるエルゴステリン（幼児の成長、骨の発達、くる病、線病質、不老補精に効果ある）、ポリサツカライド（多糖類）インターフェロン誘発物質、核酸、グルタミン酸、ビタミンB<sub>2</sub>を含む。可食部100g当たりの含有量は粗脂肪0.3g、粗蛋白2.0g、炭水化物6.2g、灰分0.4g、菌糸体に内蔵するアミノ酸は必須アミノ酸としてのリジンなどが含まれる。動物実験の結果では、椎茸の菌糸体の培養物は、肝腫瘍の形成や肝癌腫瘍の増殖を強く抑制する力を持つ。癌を抑えるのは椎茸菌糸体の培養物にある蛋白質、多糖類等の高分子化合物であると考えられる。総括して腸の活性化（ビフィズ菌）コレステロール低下、血行活性化、血圧低下、抗ウイルス作用、抗腫瘍作用をもつということが出来る。椎茸菌糸培養物をアルコール沈殿させてできる高分子化合物（高分子蛋白質、多糖類、ポリフェノール類）だけ投与すると肝癌細胞の増殖を抑制する。また菌糸体を培養し精製したエキ스가エイズに有効であり癌と同様増殖を抑制する。

【0011】ババイヤ粉末：ババイヤ粉末は本願発明の菌糸体健康食材がその構成要素を乾粉末にしてあるので、食するとき他の粉を引き締め「むせる」ことなく、喉の違和感をなくし、特に虎杖根の「舌をさす」感じを消去させ味を良くして食し易くすることは、新たな知見である。ババイヤの粉末は各種ビタミンを含み、排毒作用で血液を浄化し、正常化作用、自然治癒力を促進する栄養素を有している。また痛みを和らげ胃腸を調整し、免疫力と人の成長成分を含む。酸素を体内に増加させ、インターフェロンの活性化を促進して生き生きした体質にし、病気の治療や予防効果、健康維持に大きく貢献する。

【0012】真菰：その他本願にかかる菌糸体健康食材の構成要素の添加材として真菰を加えることができる。「まこも」は川や沼や沢などのふちに群生する、生命力

の強い不思議な力を持つと言われている、イネ科の多年草である。茎は1~2m前後に成長し、秋先端部に30cm位の穂を出し、淡緑色の小花を綴る。家畜の飼料にするほか数物などを作るのに使用される。真菰を黒焼きにした炭を養毛剤にしている。昔は眉墨に使用した。尿の近い人は根のしぼり汁を飲むと止まる。また貧血、糖尿、高血圧に効能あり、リグニンを含み癌を抑えるには1日10gを服用する。防腐作用もあり、ミキサーにかけた青汁は胃のもたれを癒す。その組成は下記のとおりであり、健康食材として適当である。その組成は、食物繊維、クロロフィルからなり、ビタミンB<sub>1,2,6,12</sub>、カリウム、カルシウム、ナトリウム、リン、マグネシウム、鉄、ナイアシン、パントテン酸、葉酸、亜鉛を含有する。葉緑素（クロロフィル）については真菰100g当たり20mgを含んでいる。そしてこの葉緑素が切り傷や、胃の炎症、その他、ただれを癒すのに役立つ。これは人の血色素（ヘモグロビン）と構造が近い。ポルフィリンは免疫力、抵抗力をもつものであるが、真菰はこれを含んでいる。これはまた殺菌、炎症、潰瘍をなくし、鎮静、利尿、血圧正常化、抗癌、健康回復、健康増進作用を持つ。宝子菌は微生物として蠕動し人の体液にあつて活性化し血液循環、浄血浄化、体質改善作用をもつ。宝子菌は体内で葉緑素をつくり、窒素質として菌を生きられなくし、体内の毒素を除去し、新陳代謝で体力を回復し、自然治癒力を増強し生体の状態を全体的に整える。

【0013】牡蠣殻：この粉末はカルシウムを多く含み、酸性をアルカリ化し、殺菌、滅菌作用がある。サルモネラ菌、カビ菌等を防止する。従ってこれは体内の浄化に寄与する。

【0014】

【実施例1】菌糸体健康食材を、乾舞茸の粉末、乾虎杖根の粉末、ババイヤの乾燥粉末を混合して構成した。

【0015】

【実施例2】菌糸体健康食材を、乾舞茸の粉末、乾虎杖根の粉末、真菰の粉末、牡蠣殻の粉末、ババイヤの乾燥粉末、乾椎茸の粉末、椎茸の菌糸体から抽出した糖蛋白、松茸菌糸体の粉末をより構成材として混合して形成した。

【0016】

【実施例3】上記実施例1、2の粉末混合材を錠剤に構成した。

【0017】

【実施例4】上記粉体の混合材をエキスを形成した。

【0018】

【実施例5】エイズウイルスは酸とアルコールと熱に弱く、混合材をリッカー漬け構成した。

【0019】

【発明の効果】舞茸と虎杖根のエキスをエイズウイルスを含むウイルスに有効で、強力な免疫抵抗力即ち抗エイ

ズ作用がある。まずHIV（エイズウイルス）に感染した場合、人の持つヘルパーT細胞が減少してなくなるから死に追いやられるわけである。この免疫細胞のヘルパーT細胞に舞茸、虎杖根を注入する。このようにすると、その細胞は死滅しないで生き残り逆に増加して元にもどり助かることができる。すなわち舞茸と虎杖根を主力として食することにより、エイズ特有の寝汗、食欲不振、体重減少等の症状は、ヘルパーT細胞が増加して免疫不全状態から抜け出すことができ症状が改善される。

【0020】本願の請求項1の構成の菌糸体健康食材を投与することにより、

①高分子多糖体を有する本エキ스가細胞組織を活性に導きウイルスに接しても細胞内のインターフェロンやマクロファージが活躍してその侵入を防御する強い効力をも\*

\*つ。

②アミノ酸、核酸（DNA）、多糖体の作用と相まって抗腫瘍作用、血液改善作用、排毒作用、その他血糖低下作用、整腸作用（便秘改善を含む）肝腎改善作用をもつ。

③本材が80%以上の癌ウイルス増殖を抑制しマクロファージを強化し、免疫細胞を強化活性化し症状を改善する。

④投与対象となつた人は、ヘルパーT細胞が90%以上の人が増加し、高いところでは2～5倍の増加となる。

⑤このようにしてエイズ特有の寝汗、食欲不振、不眠、体重減が次第になくなる。

以上の述べたように、本材は免疫促進とウイルス感染の防止阻止効果を持つと共に症状を改善する。

フロントページの続き

(72)発明者 小澤 義行

東京都品川区南大井5丁目1番8号 ブル  
ーム南大井201号